

件 名 :	新滝ヶ洞溜池の水質異常に係る対策協議会 第14回 対策協議会	
日 時 :	平成24年3月27日（火）13:30～15:30	
場 所 :	可児市総合会館分室 2階 大会議室	
出席者 :	出席者25名 欠席4名（鈴木委員、足立委員、佐橋（正）委員、細田委員、杉崎委員長、佐藤委員、堀内委員、大沼委員、今村委員、平山委員、丹羽委員、山崎委員、林（鎮）委員、長谷川委員、高木委員、奥村（照）委員、田口委員、加藤（光）委員、田中委員、豊場委員、加藤（匡）委員、佐橋（雅）委員、山本委員、今井委員、服部（利）委員 事務局…樋口、山口、長瀬、戸田	
配布資料 :	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第14回対策協議会議事次第</li> <li>・第14回席次表</li> <li>・第14回委員名簿</li> <li>・第13回議事要旨</li> <li>・資料14-1</li> <li>・資料14-2協議会への意見質問</li> <li>・資料14-3巻末資料</li> </ul>	
議事内容 :	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶（杉崎委員長挨拶）</p> <p>3. 議事</p> <p>○事務局 長瀬 : 資料による説明（1. 水質の観測状況 2. 新プラントの状況 3. その他）</p> <p>○大沼委員 : 14ページのグラフで、覆土工をする前が降水量1mm当たり45m<sup>3</sup>くらい。覆土工が終わって30m<sup>3</sup>になりました。つまり、全面覆土したけれど、3分の2しかなっていない。当初覆土工の目標は10分の1ぐらいに湧出水量を落とす目標があって、実際はそうならなくて、横方向からの地下水の浸入があって6分の1か7分の1という数字だったでしょうか。でも、実は3分の2ぐらいにしかなっていないのはどうなのでしょうか。地盤工学の専門の人に伺いたい</p> <p>○平山委員 : 10分の1、6分の1というのは表面積に合わせて算出した値から、3分の2であっても、結果的に重金属等の流出が少なくなっていることから、これだけ下がればいいと思っています。</p> <p>○大沼委員 : 一貫して変動は似たようなもので、経年変化としては大きな変化は見えないという結論でいいと思う。この先、この状態で処理はやめられないということですね。その辺は先行きどのぐらいを見通したらいいとお考えでしょうか。</p> <p>○今村委員 : 基本的には、短期的に湧出がおさまることはないでしょう。</p> <p>○田口委員 : 14ページの今ある水位孔を使って水位を測定することは、意味のないということで、この提案を支持します。</p> <p>○大沼委員 : 17年の孔で、雨が降るたびに水位が変化しているのは、実は本当の地下水位を測っているのではなくて、孔そのものに穴があって横から入ってきているという説明でした。まさにそうでしょうね。</p> <p>○平山委員 : 止めたほうがいいと思います。</p> <p>○田口委員 : 昨年清掃する過程は見せていただいたが、それ以降のデータを見てみても余りよくないので、やめたほうがいいと思う。</p> <p>○田口委員 : 先生方に質問ですが、産廃も含めた他の地域のいろいろな施設で、観測頻度がどのくらいかお聞きしたい。</p>	

○佐藤委員	: 岐阜市の北の椿洞で、測定項目水質、水位について、周辺の部分では基本的に年4回、シーズン毎に観測している。
○大沼委員	: 環境基準の年平均を物差しにするかは決まっていない気がする。それから、単純に春夏秋冬というよりは、雨季に片寄せてモニターしたほうがいい。単純に4回だったら3ヶ月置きというのではなくと思う。
○今村委員	: 今までプラントを通してきれいになることは、ほぼ証明されている。pHで管理し、全体が本当にそれでいいのかを月何回測るかの議論であり、この場合は提案で良いと思う。
○大沼委員	: 今の話はそれなりに正確だと思うが、住民の方が心配しているのは、未処理水がどのくらいあるかということ。例えば豪雨出水したときに、未処理水の流出が1回起きている。数量を把握しているのか。
○事務局 長瀬	: 処理できなかったのは9月20日の台風15号のときで、西コルゲートで160m <sup>3</sup> くらい、東で500m <sup>3</sup> くらいと推定しています。
○大沼委員	: ノッチで測った実測値なのか。
○事務局 長瀬	: 前後の時刻で測定した量等から推定したものです。
○大沼委員	: モニタリング項目で電気伝導度が外れているが、測定しやすいので測った方が良い。pHは、メンテナンスが悪いと途端に変な値になるので。
○佐藤委員	: 電気伝導度は測定項目に入っている。
○大沼委員	: 電気伝導度も表示に入れてはどうか。
○事務局 長瀬	: 今現在、電気伝導度は自動計測していないので、機械的に表示するのは難しい。
○加藤(匡) 委員	: 今、2週間に一度、大萱は現地に行って聞き取りしているが、pHなどが依然として変わらないのはなぜか。表示はどこに設置されどのように見られるのか。前回質問した新プラントの年間概算管理費と借地料については、資料にないがどうなったのか。それから、詳細議事録をもらっていないがどうなったか。以上の質問に答えてほしい。
○田口委員	: 議事録は大萱の方に届けてあります。
○事務局 長瀬	: 借地については、ゴルフ場さんの御協力で無償で契約させてもらっています。
○事務局 長瀬	: プラントの維持費については、精査しているところなので、もう少し時間をいただきたい。
○加藤(匡) 委員	: 無人化されると聞いているが、4月以降は現地に人はいなくなるのか。
○事務局 長瀬	: 脱水ケーキの搬出や薬剤の搬入等で1週間に一度程度行ってもらう予定です。
○加藤(匡) 委員	: 旧プラントの廃止はいつか。
○事務局 長瀬	: 旧プラントの撤去は、この協議会が終わったら進めていきたい。次年度以降になる。
○ 加藤(匡) 委員	: 4月以降ですね。今は第2と第4の火曜日の朝10時にモニタリングを行つていろいろな状況を伺っているが、何か問題が生じたとき等に、今後直接連絡とれないのか。
○事務局 長瀬	: 来年度契約すれば業者が決まるので、業者の現場事務所に連絡はとれる。
○加藤(匡) 委員	: 連絡をとれるようにしていただきたい。
○事務局 長瀬	: 何かあれば、逆にこちらに連絡いただき、業者に連絡することも考えています。
○加藤(匡) 委員	: 表示について、建物に金網があるが、金網の外から見て表示が見えるのか。
○事務局 長瀬	: 別な場所に表示する事を考えていますが、可児市と調整中です。
○加藤(匡) 委員	: それなら結構です。1週間分や10日分のデータは表示されないので。
○田口委員	: 常時表示をしなければならないかどうかについては、経費がかかるのでそこまでする必要があるか疑問である。行ったときに見える範囲で、表示するならそれでいいと思う。
○杉崎委員長	: 地元の希望としては、毎回行ったらすぐ分かるようにとのことだが、測った結果はオープンにしているのでは。
○事務局 長瀬	: 測ったものは月1回ホームページに載せています。
○杉崎委員長	: ホームページをみればデータは分かると思うがそれでは不安なのでしょうか。

- 加藤（匡）委員：雨が降ると浸出水のpHに変化があり、不思議に思うことがあるので数値を見たい。
- 田口委員：行ったときに見るだけで良いのではないか。
- 加藤（匡）委員：分かりました。
- 杉崎委員長：pHについての質問についてはどうでしょうか
- 事務局長瀬：新プラントは旧プラントに比べて処理する能力は大きくなりましたが、pHの処理については同じものです。
- 豊場委員：調整池に流入する水のうち、プラント処理水とその他からの流入がどれくらいか分かりますか。
- 事務局長瀬：手持ち資料がない。
- 加藤（匡）委員：調整池流入直前の湧水、1ページの図で③と④の2カ所について、旧プラントではポンプアップしていたが新プラントではやっていないのでそれが調整池に流れて薄まるはずだが、pHに変化がないのはなぜか。
- 事務局長瀬：図1.2にあるコルゲートにつないで、タンクから上げています。
- 服部委員：今、調整池の水質について御質問ですが、5ページをごらんいただくとpHの値は、いずれも7前後の値になっていまして、旧プラントから新プラントになつてどうなつたかという御心配だと思いますが、一定の値の範囲に入つてゐるところで、御理解いただきたい。
- 大沼委員：調整池にプラント処理水以外の、未処理の浸出水が入つてゐるのではないか。
- 田口委員：一番下の排水路下流の約10m～20m下がつた東側の山の谷からの水がpHが低く、それが関係しているのではないか。
- 大沼委員：湧水が盛土と関係ないかは分からぬ。それから、外部表示の件ですが、データは大事なので安心安全のために表示をつけるのは良いと思う。
- 田口委員：表示については賛成です。ただ、常時古いデータをそこで見るということについてはどうかと思います。
- 大沼委員：グラフ表示するには工夫がいるかもしれない。技術的には可能だと思いますがどのくらいかかるかも分かりません。瞬時値については表示するだけなので難しくないと思います。
- 田口委員：光ファイバーが引かれておらず大容量の通信ができない。保安管理の問題もある。光が引かれていれば、また大分状況が違つてくる。
- 杉崎委員長：技術的にいろいろな問題があると思いますから、これにつきましては、事務局のほうで考えていただきたいと思います。
- 事務局長瀬：今の件につきましては、可児市といろいろ調整しているところだということで、御理解ください。
- 大沼委員：可児市のコメントを伺いたい。
- 事務局樋口：後々のメンテの方法もあり、まず設置場所から地元と詰めていきたいと思っております。
- 杉崎委員長：技術的にいろいろな問題を検討中だということでよろしいですか。それでは、いろいろな議論が出ましたが、今までのことをまとめさせていただきます。
- まず、新プラントのモニタリングの結果は、今までのものと同様な水質が確保されて確実に機能していることが確認されたということをお認めいただいたと思います。
- それから、新プラントが正常に働くので、旧プラントは撤去するということですね。
- 地下水位観測は目的を終えたので観測を終了することになります。
- 水質観測計画については、皆さんの御異論もなかつたと思うので、この19ページの表のように取り扱つてよろしいですね。
- （「異議なし」の声あり）
- ありがとうございました。
- そうすると、今日主に相談しておくべきことはこれぐらいだと思うのですが。

- 佐藤委員 : ちょっと一つ。19 ページの黄色の提案で良いが、最初に指摘がありましたように、回数を決めて機械的にやるのは、問題があると思う。  
例えは下の欄外に、地震とか台風とかすごい豪雨の後には頻度にこだわらず計測していただくことを書いておいたほうが良いと思う。
- 杉崎委員長 : ほかの方は御意見どうですか。  
事務局には、下に「非常事態のときにはこの頻度にとらわれない」という注釈を入れていただきたいと思いますが、よろしいですね。
- 堀内委員 : pH に関して常時観測されているので、異常な値が出たときは、対応するようできると思う。それも含めていただきたい。  
観測頻度は一律全部一段階ずつ緩くなっているが、めり張りをつけてもいいと思う。鉛はもっと間隔を広げてもいい。pH、カドミウム、ふつ素、亜鉛は環境基準ぎりぎりなので、対応できる仕組みが大切ではないかと思う。
- 杉崎委員長 : 今の御意見よろしいですか。  
成分については、特に非常事態みたいなことがあつたら、これにとらわれないということを欄外に記述していただきたいと思いますが、よろしいですね。
- 事務局 長瀬 : 下のところに非常事態の注意事項を付記します。
- 杉崎委員長 : ありがとうございました。  
ほかになければ、今日主題になって残った項目は事務局の間で整理していただいて、引き続いて事務局から提案していただきたいと思います。  
今後の協議会については、事務局から改めて御連絡をお願いいたします。  
長時間にわたり熱心な御討論、どうもありがとうございました。  
ほかに何か、ございましたらお願ひいたします。
- 大沼委員 : 一つだけ。メンテナンスマニュアルが巻末資料にあるが、もうちょっと細かく書いたほうがいいと思う。ちなみに、愛知県の水質自動観測所は12カ所あるが、非常に細かいマニュアルをつくって、今環境保全公社というのが受けてやっている。
- 事務局 長瀬 : 1年間のモニタリングの中マニュアルをつくってきたところですが、このマニュアルを使っていく中で、いろいろ追加修正等行なっていきたいと思っております。よろしくお願ひします。
- 杉崎委員長 : ほかにございませんか。  
ございませんようでしたら、この会議はこれで終了させていただきたいと思います。どうもありがとうございました。

#### 4、閉会